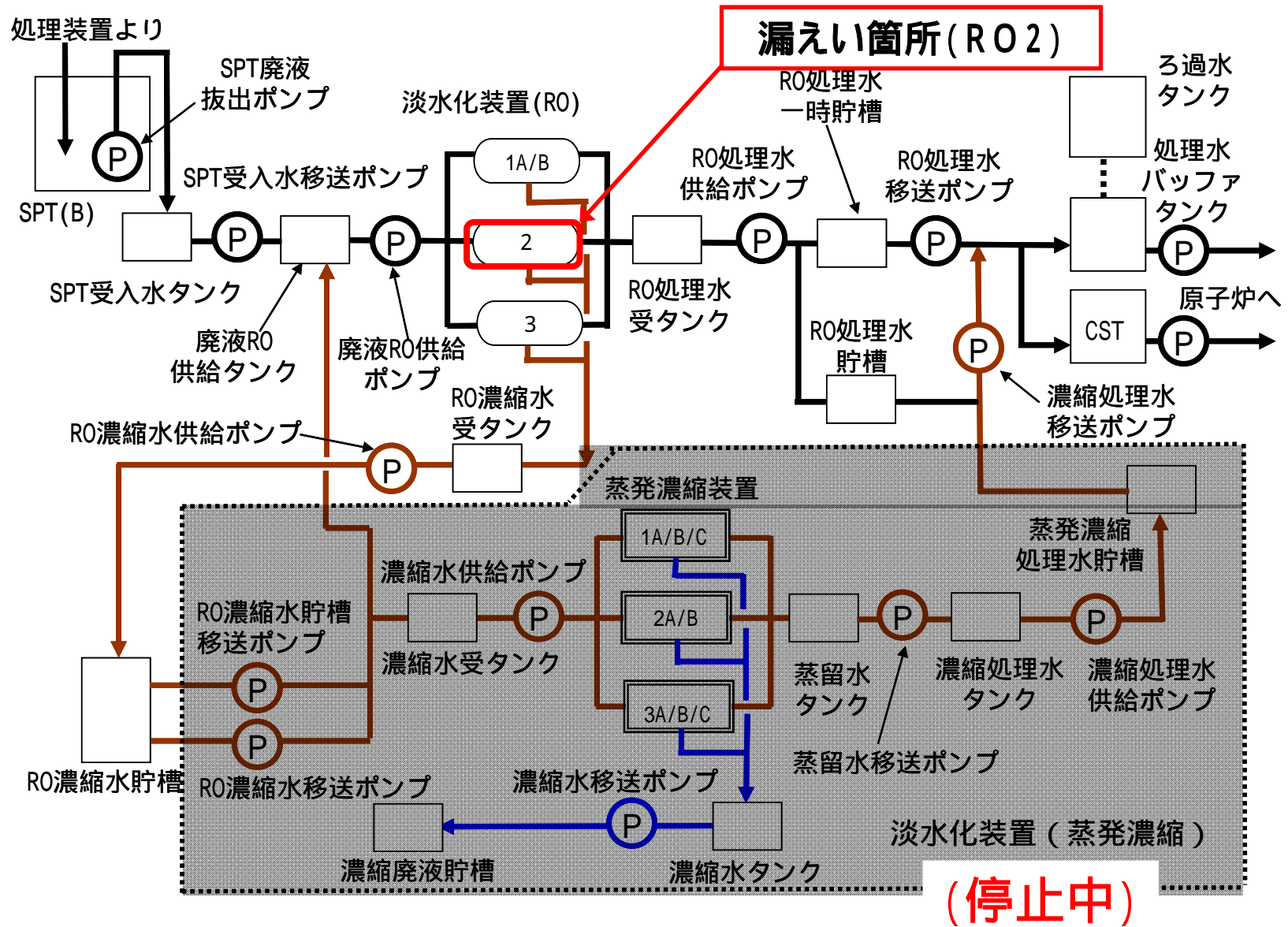


- 10月19日淡水化装置(RO2)の処理水槽付近から水が漏えいしていることを協力企業の作業員が発見。
- 漏えいは設備周辺の堰内に留まっており、外部への流出はなし。漏えいは停止し、漏えい水の回収と拭き取りは完了している。

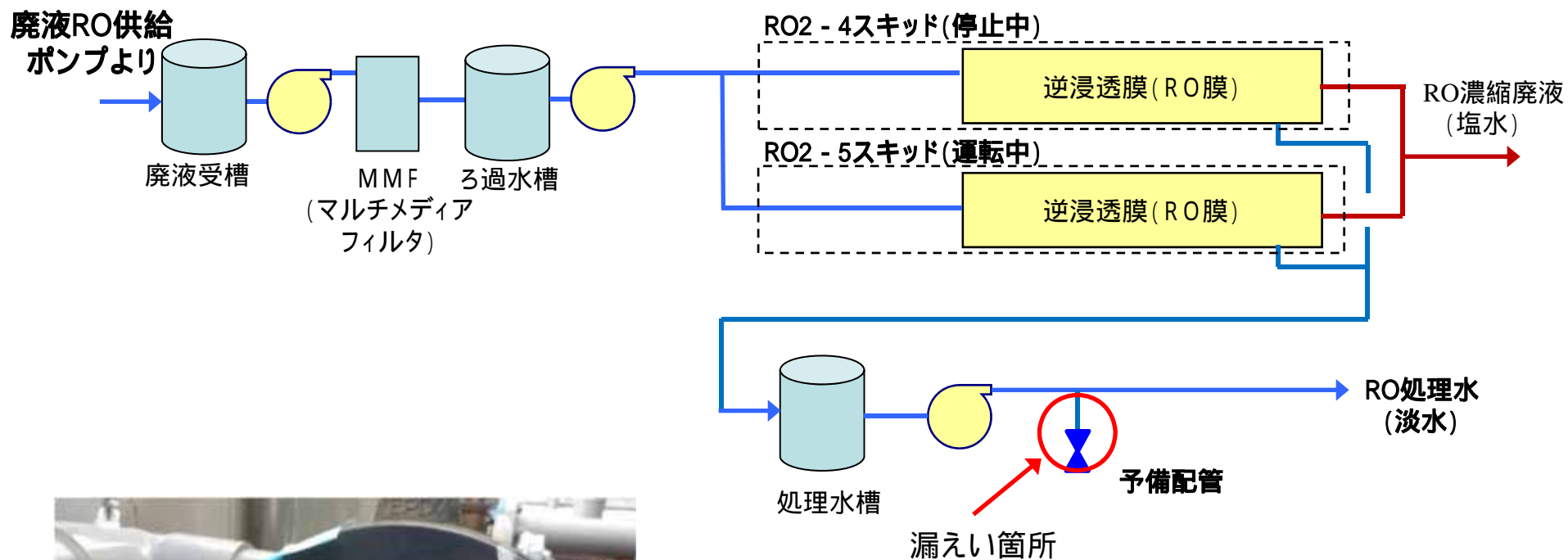
【概要】

- 日時:2015年10月19日7時36分頃
- 場所:淡水化装置(RO2)蛇腹ハウス内
- 漏えい箇所:RO2処理水移送ポンプ吐出配管付近
- 時系列:
 - 7:36 「ROユニット2異常」警報を確認。
 - 7:55 現場にてRO2処理水移送ポンプ吐出配管に接続している薬品注入用予備配管が損傷し、漏えいしていることを確認。
直ちに運転中のRO2-5を停止。
 - 8:10 隣接弁(V244, V246)の閉操作を行い、漏えいの停止を確認。
 - 14:05 漏えい水の回収、周辺の拭き取り完了。
- 漏えい量:約1m³ 漏えい範囲:約10m×約10m×約10mm
- 放射能濃度分析結果: Cs¹³⁴ : 1.2×10² Bq/L Cs¹³⁷ : 4.5×10² Bq/L
全 : 1.7×10⁴ Bq/L

淡水化装置概略系統図



淡水化装置(RO2)の詳細図



淡水化装置(RO2)漏えい箇所

■淡水化装置(RO2)ジャバラハウス

